



報道関係者 各位

令和8年9月3日

県政150周年記念 伝承館開館6周年特別企画 「手話でつながる防災デー」 9月20日開催 防災の手話学ぶワークショップ、被災ろう者の手話講話など実施

9月20日に開館6周年を迎える東日本大震災・原子力災害伝承館（双葉町）は、特別企画「手話でつながる防災デー」を開催します。

- ろう者、手話通訳者から手話を学ぶワークショップ 【初開催】
- 被災したろう者による手話講話（通訳付き） 【初開催】
- 手話通訳付きの震災語り部講話

9月20日（日）～23日（水・祝）まで、伝承館職員がガイドする「特別展示見学ツアー」を併せて実施します。※手話通訳は付きません。

（1）主催など

- ・主催：公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構
東日本大震災・原子力災害伝承館
- ・協力：NPO法人富岡町 3.11 を語る会

（2）日時

- ・令和8年9月20日（日）午後1時15分～午後3時10分

（3）目的

- ・全日本ろうあ連盟「聴覚障害者 災害時初動・安否確認マニュアル」において、災害時に「聞こえない人・聞こえにくい人」の困りごととして、下記を挙げています。
 - 防災無線や広報車、館内アナウンスの音が聞こえません
 - テレビに字幕・手話がないと災害の様子がわかりません
 - 避難先で、物資や食料の配給など、大切な連絡や情報が伝わりません
- ・また、同マニュアルでは東日本大震災で聴覚障害者の死亡率が一般より高いというデータを引用し、「聴覚障害者は津波警報が聞こえなかったために、犠牲になった人が多くなったのかもしれない」としています。
- ・本イベントでは、防災に関する手話を学ぶワークショップ、被災したろう者による手話の講話に加え、津波で九死に一生を得た語り部さんの講話を手話通訳付きで実施し、聴覚障害のある方に手話で教訓を伝え、「手話でつながる」ことを目指します。

(4) 詳細

①手話通訳付き語り部講話（午後1時15分～午後1時55分、1階研修室）

- ・演題：「自分の命を守る」（いわき市）
- ・内容：震災の津波により死に直面した方が語り部です。自分の命を守るためにすべき行動は何かを問いかけます。
- ・手話通訳者：NPO法人富岡町 3.11 を語る会「手話での語り人（べ）育成講座」を受講した福島県聴覚障害者協会所属の手話通訳者が担当します。
- ・2025年に「東京 2025 デフリンピック」のサッカー競技がJヴィレッジで開催された際に、手話通訳付き語り部講話を初めて実施。今回は5回目の実施です。
- ・料金：通常、館内語り部講話の聴講には入館券（一般600円、小中高生300円）が必要ですが、今回は無料とします。（定員90名、事前申込不要）

②手話でつながるワークショップ（午後2時10分～午後3時10分、エントランス）

- ・内容：前半は、東日本大震災の時に困ったことなどを、ろう者による手話講話（20分）、後半は防災に関する手話や、ろう者が身近にいた時にどう行動すればいいのか、などを学ぶワークショップを実施します。今回は初めての実施です。
- ・料金：無料（事前申込不要）

③特別展示見学ツアー（9月20日～23日、各日午後1時15分～午後2時15分）

- ・伝承館職員の解説により展示見学できます。
- ・参加希望の方は各日午後1時10分までに1階受付に集合していただきます。
- ・料金：入館券が必要です。

※手話通訳は付きません。

【一般のお問い合わせ】

電話：0240-23-4402

【取材のお問い合わせ】

（公財）福島イノベーション・コースト構想推進機構

東日本大震災・原子力災害伝承館 企画事業部長 齊藤祐二（さいとう・ゆうじ）

電話：0240-23-4404

住所：〒979-1401 福島県双葉郡双葉町中野字高田 39